

令和 7 年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

適期外植栽試験の植え付け 3 か月後の成長量調査 9 月 16 日（火）

適期外植栽試験とは、年間を通じた労働時間の平準化を図ることを目的に、植栽適期といわれる 10 月～3 月以外の、森林施業の閑散期にあたる 4 月～6 月に植栽し、その際の活着や成長量を把握するために実施している試験である。

石垣島における 2 箇所目の適期外植栽試験地として、令和 7 年 6 月 11 日に、平得県営林においてリュウキュウマツ、ヤエヤマシタン、アカギ、リュウキュウコクタン、テリハボクのポット苗を 125 本植栽しており（面積：0.042ha、植栽密度：3,000 本/ha）、植栽後 3 カ月が経過した 9 月 16 日に成長量調査を行った。

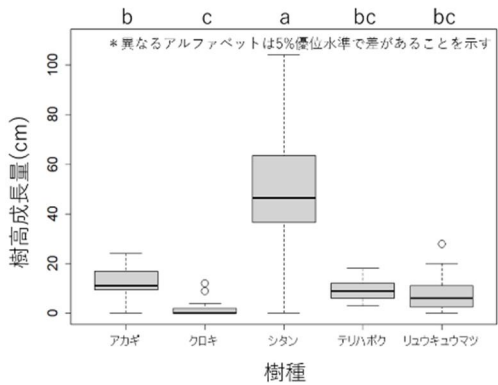
今年は 6 月 8 日に梅雨明けしたことで、1951 年の統計開始以降 2 番目に梅雨の期間が短いという厳しい条件であったものの、活着率については、下刈りの際の誤伐個体を除くと、123 本すべてが活着しており 100%となった（表）。

また 3 か月間の成長量については、ヤエヤマシタンが最大で 100cm、中央値で 40 cmを超える程の旺盛な成長を示した一方で、アカギ、テリハボク、リュウキュウマツは概ね 10-20 cm程度、リュウキュウコクタン（方言名：クロキ）は植栽時点からほとんど成長が確認されなかった（図）。

解析対象（誤伐個体を除く）

樹種名	植栽 本数	生存本数			生存率（％）			苗高	
		7.14	8.13	9.16	7.14	8.13	9.16	2025.6	2025.9
アカギ	24	24	24	24	100%	100%	100%	47.0	59.6
クロキ	24	23	24	24	96%	100%	100%	41.7	42.1
シタン	24	24	24	24	100%	100%	100%	35.5	83.7
テリハボク	27	27	27	27	100%	100%	100%	31.2	40.5
リュウキュウマツ	24	24	24	24	100%	100%	100%	34.5	42.2

表 樹種毎の生存率と
樹高



図：樹種毎の樹高成長量

（報告者：八重山農林水産振興センター
比嘉、井口、砂川）